

学校だより 6月号

令和6年6月14日(金)

「誇・光・力」
錦江中!



真価が問われる

校長 平國 弘明

いよいよ、来週火曜日(18日)から肝属地区中学校総合体育大会が行われる。多くの競技が県中学校総体の出場権をかけた予選大会でもある。昨年度から大会規定が変更され、部活動生徒と出場を認められたクラブチームに所属する錦江中生が出場できる。日頃から話しているように、この錦中生であるということを強く自覚して大会に臨んでもらいたい。錦江中の代表である。真摯な態度、フェアプレー、中学生として恥ずかしくない行動で、試合に大会に臨んでもらいたい。

話は変わるが、私の部屋の棚に、古びた賞状がある。県大会をかけた川内市大会(川内市は現薩摩川内市の一部)の軟式庭球(今はソフトテニスと名称が変更になっている)競技の部の賞状である。中学校での部活動における手元に残る唯一の賞状である。私の人生にとって、この賞状はかなり大きな意味をもち、かけがえのない日々を証明するものになっている。40年以上たった今でもあの頃を思い出す。みんなも、振り返る日がきつとくるはず。

さて、地区総体に向けて私が考える心構えを伝えておきたい。

まずは、「心こそ戦する身の命なれ 揃えば生き 揃わねば死す」。これは「日新公いろは歌」の一つで、心を一つにして戦えば勝ち、そうでなければ敗れるという意味。試合に臨む選手もベンチもサポートや応援も一丸となることが必要である。無論、大会のときだけではない。練習や試合を迎える今の準備期間もそういうことを考えながら過ごさねばならない。

次に、横のつながり。周りの人に感謝。仲間、先生方、コーチ、家族、ライバルなどいろんな人に思いを巡らせ、関わったすべての人の思いも大切に、日々を過ごそう。本当にいいチーム、いい選手は周りの方々への感謝の念が強い。強さの秘訣と言われたら、これにつきる。

3つ目、錦江中のつながり(縦のつながり)。錦江中は、これまでに770名の卒業生を輩している。統合前の4中学校の卒業生を含めれば、1万人以上ではなかろうか。それらの先輩方も新聞やブログ、HPの記事を目にされたり、結果を耳にされたりすることであろう。先輩方へも今の錦江中生のがんばりを届けよう。

4つ目は、これから、注意すべきこと。健康管理、怪我への注意、しっかりした日常生活を送ることも重要である。気の緩みで怪我をしないためには、墓参りが一番。神社でも、仏壇でもいい。手を合わせることだ。2つ目の感謝の念にも通じる。

5つ目。チームが試合に勝つために、自分の役割を自覚する。技術も経験もみな同じではない。つまり、全員が同じようにはできない。だから、それぞれがそれぞれの役割を果たすことが大事。自分がやることは何か。チームのための役割は何か、今一度考え、それをやりきろう。

そして、試合に臨むにあたって必要な要素、5Cを教えておこう。1つ目はCONFIDENCE: 自信をもつ。不安があっても態度に出さない。2つ目は、CONCENTRATION: 集中。ミスったらなんて考えない。なんのためにもしない。勝つために必要なことに集中。足を動かすとか、相手をよく見るとか、基本的なことをきちんとやる、3つ目はCONTROL: 気持ちをぶれさせない。笑顔、下を向かない、1人で勝手に怒らない。4つ目はCOMMUNICATION: 自分との対話。自分を鼓舞する。それからチームメイトへの声かけ。ピンチはチャンスに変えられる。そして、最後にCOVER: お互いに助け合う。カバーし合おう。

「誇・光・力 錦江中!」「気張れ。錦中健児!」。

乾坤一擲！我武者羅に！！



バスケットボール部



軟式野球部



サッカー部



卓球部



ソフトテニス部



剣道部



バレーボール部

6月11日(火)の朝、錦江中学校にて地区中体連に向けて壮行会が開催されました。

それぞれの部活動主将が、大会に向けての抱負を語り、生徒会長からの激励の言葉、校長先生からの励ましの言葉がありました。これまでお世話になった様々な方への感謝の気持ちを忘れずに、全力で、それぞれに掲げる目標が達成できることを祈ります。



未来の自分の姿を重ねながら(高校説明会)

5月30日と6月5日に、上級学校やハローワークの職員の方々をお呼びして高校説明会が、中学校と町総合交流センターで3年生とその保護者を対象に開催されました。説明を聞く中で、各高校それぞれに特色があって、自分の希望する未来と重ね合わせて進路を考える姿が見られました。



小学校と手を取り合って

6月3日(月)、錦江中学校では午後に錦江中学校区の小・中学校の先生方が集まり、小中連携研修会が開催されました。わかりやすく楽しい授業のための工夫や、児童・生徒の安全について、活発な議論が交わされました。

